



南安岐小学校大運動会

9月定例会

補正予算決まる 2～3
一般会計予算総額 213億5,540万円

決算特別委員会審議 4

11人が登壇 **一般質問** 市政を問う 6～16

常任委員会報告 17～18

平成19年 9月定例会

会期は9月6日から21日までの16日間、
議案18件。認定14件。意見書4件など可決。

平成
18年度

一般会計

各特別会計決算

を認定!

一般会計歳出決算額

190億1,283万円

特別会計歳出決算額

193億4,051万円

9月補正予算額決まる!

一般会計補正予算額 2億730万円

総額213億5,540万円に!

【歳出の主なもの】

- ・高額医療対象者に対する更生医療費給付費 2,387万円
- ・台風4号等による市道3路線の災害復旧費 1,078万円
- ・安岐統合消防団の機庫等施設整備事業 1,006万円
- ・財政調整基金積立金 8,540万円

特別会計補正予算額

・国東自動車学校	2,539万円
・サイクリングターミナル	755万円
・国民健康保険事業	2,036万円
・介護保険事業	13,883万円
・介護サービス事業	991万円
・老人保健医療事業	65万円
・簡易水道事業	3,406万円
・公共下水道事業	100万円
・特定環境保全公共下水道事業	441万円
・農業集落排水事業	△45万円

主な議案の内容

国東市ケーブルテレビ施設条例の一部改正

使用料を徴収する上で、国東市ケーブルテレビセンター地域と安岐町ケーブルテレビセンター地域とで、集合住宅の戸数の捉え方が違っており、これを安岐町の方式に合わせるため改正するものです。

本件は、総務委員会の審査を得て本会議で可決しました。

国東市乳幼児医療費の助成に関する条例の一部改正

大分県乳幼児医療費の助成に関する実施要綱の一部改正に伴い、改正するものです。

本件は、厚生委員会の審査を得て本会議で可決しました。

国東市民病院使用料及び手数料徴収条例の一部改正

死体処置料を現行2,100円から5,250円に改正するものです。

本件は、厚生委員会の審査を得て本会議で可決しました。

国東市消防本部及び消防署の設置等に関する条例等の一部改正

消防組織法の一部改正に伴い、同法から引用している条文を改正するものです。

本件は、総務委員会の審査を得て本会議で可決しました。

国東市土地開発基金条例の廃止

現状では、機動的な土地の先行取得の必要性が薄れてきています。また、市有地の管理が基

金と一般会計で二元化している弊害等を解消するために土地開発基金を廃止するものです。本件は、総務委員会での審査を得て本会議で可決しました。

物品購入契約の締結

安岐出張所の救急車を高規格救急車へ更新するものです。

本件は、本会議で同意することに決定しました。

宇佐・高田・国東広域事務組合（共同ごみ処理）議会議員の選挙

猪俣俊雄議長、諸富忠議員、丸小野宣康議員の3名に決定しました。

議案等議決結果一覧

— 9月定例会 —

<市長提出議案>

- 平成18年度一般会計歳入歳出決算の認定…………… 認定
- 平成18年度各特別会計歳入歳出決算の認定（13件）…………… 認定
- 平成19年度一般会計補正予算…………… 可決
- 平成19年度各特別会計補正予算（11件）…………… 可決
- 国東市ケーブルテレビ施設条例の一部改正…………… 可決
- 国東市乳幼児医療費の助成に関する条例の一部改正…………… 可決
- 国東市民病院使用料及び手数料徴収条例の一部改正…………… 可決
- 国東市消防本部及び消防署の設置等に関する条例等の一部改正…………… 可決
- 国東市土地開発基金条例の廃止…………… 可決
- 物品購入契約の締結…………… 可決

<議員提出議案>

- 国民健康保険に対する国庫負担を以前の水準に戻していただきたい旨の意見書…………… 可決
- 地域医療を守るため医師養成数の増加を求める意見書…………… 可決
- 有害鳥獣対策の抜本強化に関する意見書…………… 可決
- 身近な地域で安心して出産ができる助産所の存続を求める意見書…………… 可決

<その他>

- 宇佐・高田・国東広域事務組合議会議員の選挙…………… 指名推薦

決算特別委員会を設置

議長と議会選出の監査委員を除く議員全員による決算特別委員会（委員長 安見蔚）が設置され、9月18・19日の2日間、特別委員会を開会し、一般会計決算と各特別会計決算14件を原案のとおり認定すべきものとした。

委員会での 主な質疑

不納欠損処理について

Q. 今回多額の不納欠損処理を行なっているが、その中味と徴収対策は。

A. 合併前の旧4町の時代のもので、既に時効が成立した部分について地方税法に基づき不納欠損処理をしたものです。今後は、滞納処分基準

不用額について

Q. 不用額が約4億円もできていかなかったのか。

A. 不用額が50万円以上の項目で約2億円の不用額が出ていますので、今後は最終補正の段階で精査していきます。

をつくり、時効中断の措置を図りながら、徴収率向上と税の不公平感解消に努めていきます。

フラワーセンターについて

Q. フLOWERセンター管理運営について、施設の売上げが少ないが、今後の運営の見直しは。

A. 施設廃止の方向で検討中です。

住宅新築資金等貸付事業特別会計について

Q. 滞納対策は。

A. 経済的理由等により貸付金の回収が滞っており、多額の滞納額が生じております。今

後も年次計画に沿って返済していただくよう働きかけていきます。

国民健康保険事業特別会計について

Q. 財政安定化支援に係る一般会計からの繰出金について、全額繰出していないが。

A. 国保財政は脆弱でありますが、一般会計が大変厳しい状況でありますので、今は辛抱していただいておりますが、他市の状況を見て検討していきます。

病院事業特別会計について

Q. 一般会計からの繰出金が、交付税で措置された金額より少ないようであるが。

A. 繰出基準が決まっていますので、来年からはその基準により対応していきます。また、交付税も参考にし実態に即して対応していきます。

議案質疑

9月定例会

□ 一般会計補正予算について

Q. 消防費の減額について。

A. 国が緊急に配置する防災への購入のため国の補助金がつかず、減額となっております。

Q. 高齢者医療広域連合負担金の割合（均等割10%・人口割45%・75歳以上の人口割45%）について。

A. 負担割合については、市町村のそれぞれの意見を反映して、県が取り決めたものです。

Q. 総合計画策定事業は、いつできるのか。

A. 12月議会に上程します。

Q. 武蔵の放課後児童クラブの夏休み分の人件費について。

A. 委託している社会福祉協議会の委託料の積算に当初この部分が含まれなかったため今回補正したものです。

Q. 農林水産物東京直販フェアと、くにさき・姫島東京フェアの絡みについて。

A. 県の主催による坐来大分を

中心に開催するくにさき・姫島東京フェアと従来から国東市が実施しております東京直販フェアを同時開催とし、東京直販フェアも県より補助金をいただく予定をしております。

Q. 道路橋梁費の県道改良負担金(国体道路関連)について。

A. 農工高校前の2カ所のバス停の設置工事で、事業費は2,300万です。これに伴う負担金15%分です。

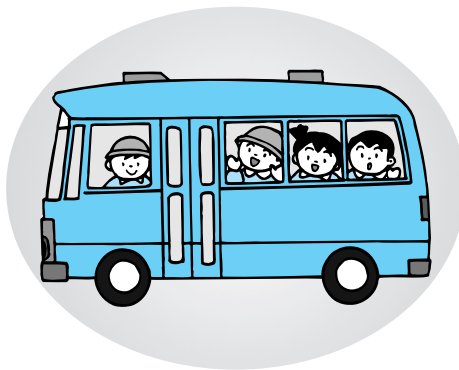


Q. 消防機庫建設工事、並びに消防機器・消防ポンプ積載車購入費について。

A. 安岐町の消防団吉松班と油留木班の統合等に係る経費です。

Q. 財前通学基金の今後の活用について。

A. 今後の学校統合等に備えて、スクールバス等の購入に充てたいと考えています。



Q. 耐震改修促進計画業務委託料について。

A. 国の事業で市内全域の避難路を確保するため、主な避難路沿線の個人住宅の耐震診断や改修事業を行う計画書作成にかかる事業です。



宮永 英次 議員

学校図書館司書の配置増を

―来年の人事異動でやりたい―

市長 市職員で司書の資格を

持っている人が居れば来年の人事異動でやりたいと思います。



●活力ある国東市の建設

議員 厳しい財政事情でも市民に夢や希望が与えられる将来のビジョン、政策を示す必要がある。企業・行政・市民も加わった「まちづくりを考える戦略会議」の設置を。

市長 国東市の将来ビジョンは、現在策定中の国東市総合計画で示します。地域に住む市民の皆様が自ら考え、行動することがベストで「まちづくり戦略会議」も民間で立ち上げ議論された各種プロジェクトチームを市に提案していただければ幸いです。

●企業の農業への参入を

議員 田を荒らさず、若者雇用が生まれ、もうかる農業、特産品の開発、普及を目指し、国東地方特産の七島いを企業化して、付加価値をつけた日本伝統的価値を持った製品として需要が見込めないか。

産業商工部長 七島いは現在16戸の農家が生産しています。中国産に押され気味でしたが品質で日本産が見直され生産が間に合わない状況だそうです。企業化して作付するような経営体があれば、積極的支援をし、310数年の歴史を持つ豊後青表を育成したいと思っています。

●公民館、体育館の使用

料見直し

議員 地区の公民館、体育館の使用料は営利目的以外は無料にすべきではないか。

教育長 行財政改革を推進中で受益者負担の原則から御協力御理解いただけるよう取り組みます。近隣自治体の状況も勘案し見直しも行います。

●学校図書館司書の配置増を

議員 当面200人以上の学校に配置し他の学校も巡回数を増やしては。資格を持った職員を配置がえて対応できないか。

議員 市内で出産できる病院がなくなる。どう検討し、対策は。

市長 大分医大に地域枠があるので毎年一人推薦枠を公立病院を抱える市にいただけるところ、県・国にお願いするよう市長会を通じて申し入れを考えています。今すぐに産婦人科の先生が来る可能性は少なく、市民病院の初井院長や地域開業医の皆さんと話し合いながら対処していくしかないと考えています。

一 般 質 問



唯有 幸明 議員

● 消防団組織の再編について

議員 消防団の再編計画はどうなっているのか。

消防長 現在17分団、40部となっています。過疎化や高齢化が進行し、昼間の消防力低下が危惧されていますが、現在、管内の消防力に関する基礎的資料を作成、検討しています。合併協で示された再編計画を基本とし国が定めた新しい消防力の整備指針に沿った形で進めていきたいと考えています。

● 国際交流員やALTの招聘について

議員 国際交流員やALT(外

消防団の再編計画は

—安全・安心な再編を進める—



国東市消防団

国語指導助手)の招聘はどうなっているのか。

市長 国際交流というのは非常に大事だと思っていますし、国からの交付税措置もあるようです。来年度にはでき

るだけ早く国東市に来ていただくようにやってみます。

● 地方自治体財政健全化法について

議員 本市における「連結実質赤字比率」はどのくらいか。

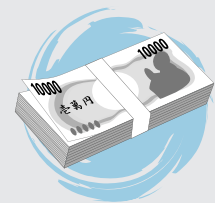
総務企画部長 国東市の「連結実質赤字比率」は黒字の17・85%でございます。この指数は本年6月に参議院本会議で可決成立した「地方自治体財政健全化法」に関する法律に基づくもので、平成20年度決算から4つの指標で安定した健全な財政運営に資する目的のために作られた法律でございます。

地方自治体財政健全化法とは

普通会計の収支だけでなく、国民健康保険や公立病院、下水道などの公営事業の特別会計を含めた連結ベースで財政状況を把握し、見えにくい借金や赤字を早期に発見、健全化を促す。

「実質赤字比率」「連結実質赤字比率」「実質公債費比率」「将来負担比率」の4つの数値を議会に報告し、公開するよう自治体に義務づけた。

同法では、いずれかの数値が早期健全化基準を超えると、健全化計画の作成が必要になる。更に「財政再生基準」を超えると、起債に国の同意が必要になる。20年度決算から適用される。





白石 徳明 議員

乳幼児医療費の助成は

―来年度実施の方向で検討―

●福祉政策について

議員 6月議会で乳幼児医療の助成について前向きな回答があったが、準備状況は。

生活福祉部長

3歳児未満の乳幼児につきましては、一部負担金の割合が現在2割でございませう。県ではこれを就学前の児童まで拡大するなどの乳幼児医療制度の一部改正を検討しています。現在、宇佐市と国東市以外はすべて単独助成を行っております。国東市も来年度実施の方向で内容を検討してまいります。

議員 昨年4月の介護保険制度

の改定をどう考えているか。

生活福祉部長

改正は「介護予防」が重視されるようになり

ました。審査基準は大きく変わっていませんが、要支援・要介護になる可能性の高い高齢者を優先して手厚い支援を行い、生活機能の維持改善を図っています。

●農政について

議員 構造改革の名のもとに米価をはじめ農村の崩壊が加速している。政府に対し、

①生産費と所得を保障する価格下支え制度をつくらせる。

②外米の輸入をやめさせる。

③政府備蓄米を流通米に回させない。

この3点を要求すべきだと考えるが。

産業商工部長 現段階では、くにさき農協、農業者団体と対応策を協議してまいりたいと思っております。また、参入企業の誘致も検討していきたいと考えています。

議員 企業の参入を誘致するというのは市長の考えか。

市長 不耕作地をそのままにしておけば荒地になる訳で、企業が地元の皆さんと協調してやるということはあるが、悪いことではないと考えます。

市長 不耕作地をそのままにして

おけば荒地になる訳で、企業が地元の皆さんと協調してやるということはあるが、悪いことではないと考えます。

●選挙の投票率について

議員 さきの参議選の投票率をどう受け止めているか。また

投票率のアップ対策は。

市長 投票区の統廃合により投票所への距離が遠くなり、有権者の方々に不便をおかけしているという事実は認識しております。今後はコミュニケーションを強化し、投票所までのアクセスを改善するよう広報等での啓発につとめます。



乳幼児健診

一 般 質 問



野田 忠治 議員

機構改革は

― 総務企画部を2つの部へ ―

● 機構改革の進捗状況について

議員 職員数減による市民サービスの低下、職員への負担の解消策としてのグループ制の導入を含めた機構改革の取り組みは。

総務企画部長 機構改革については、教育事務所の一本化と、総務企画部の総務と企画の分離を検討しています。グループ制については、先進地視察の結果を参考にしてグループ制を導入するか否か、見極めます。また導入の場合は試行期間が必要です。

副市長 部の再編でできる企画の中でグループ制を試行しようと考えています。

● 一部分庁制への移行について

議員 一部分庁制への移行についての進捗状況は。

総務企画部長 本庁機能の充実を図るためには、本庁舎に職員を集中させる必要がありますが、スペースがありません。今後の退職者数を勘案しながら、組織の機構改革にあわせて総合的に判断します。

● 総合支所制の廃止、統廃合について

議員 職員数減による総合支所の機能や業務への不安解消のため、また、経常経費削減のために総合支所制の必要性を検討しては。

議員 職員数減による総合支所の機能や業務への不安解消のため、また、経常経費削減のために総合支所制の必要性を検討しては。

総務企画部長 総合支所制については、住民サービス

の低下を招かぬように、整理・縮小を検討しなければなりません。現時点での廃止等は困難と考えておりますが、将来的には窓口事務を残す「支所」としての位置づけも検討します。

● 遊休市有地活用の進捗状況について

議員 遊休市有地活用の調査、検討、売却の具体的な計画は。

総務企画部長 公売可能な市有地の選定を現在進めているところで、「市有地

売却要領」を作成して、今年度中に公募手続が整ったものについては、順次売却の方向で検討します。

財政課長 10件に満たない物件については評価をし、12月までに公売手続に入って、公募をして今年度中に売却したいと思っています。



遊休市有地 (国東町鶴川)



国東市立南安岐小学校



国東市立西安岐小学校



木田 憲治 議員

●小学校統合計画について

議員 安岐町の小学校4校統合後の跡地に対する市の利用方

針は。

市長 それぞれの立地条件を活かした跡地利用が望ましいと考えており、地域住民の御意

職員の意識改革への取り組み

—市民の目線に立った

意識づくりを進める—

見をいただき、議会とも十分協議して、よりよい形での跡地利用を進めてまいりたいと考えています。

議員 市内での小学校の統合計画はあるのか。

教育長 旧安岐町の小学校を除いても、複式学級制をしている学校や、向こう5年間のうちで激減する学校も存在し、早期に市教育委員会の諮問機関として、市内小学校の学校教育環境整備に関する国東市学校教育審議会を設立し、総合的に審議を重ね、「国東市学校教育環境整備総合計画書」を策定し、計画の推進を図りたいと考えています。

●人事交流について

議員 職員の人事交流の中で、一般職から消防職への異動はあり得るのか。

総務企画部長 市役所の一般事務職から消防本部の事務職に転出を命ずることはできませんが、消防事務の中には専門的な分野が多く、資格制度もあるため、事務分野を限定せざるを得ません。人事交流には採用条件が異なることから本人の意見も尊重する必要がありますと思います。

●意識改革について

議員 職員の意識改革について今後どう取り組むのか。

市長 意識改革の必要性を認識して、既成概念にとらわれることなく、市民の目線に立った行政としての意識づくりを進めてまいりたいと考えています。

一般質問



諸富 忠 議員

● 小学校跡地利用について

議員 安岐町小学校4校の統合に伴い、跡地の利用について朝来地区として、地区民の意見をまとめ、福祉施設として利用して頂きたい。また幼稚園舎は農産加工施設として利用したいと要望書を提出した。跡地利用の方向と、閉校記念式典の方針も含めて問う。

教育長 先に答弁したとおり皆様のご意見を聞きながら総合的に判断させて頂きたいと思っております。また閉校式典については、今統合小学校開校準備委員会の中で、2月下旬か3月上旬を予定しています。式典の中身についても今後具体

市民病院の耐震補強施策は

— 12月までに結論を出したい —



国東市立朝来小学校



国東市立西武蔵小学校

改築か方向性は。また医療改革により医師不足や経営不安がある。健康医療、福祉の充実した病院経営にどう取り組むのか。

市長 市民病院は住民生活、安心のよりどころとして地域の中核病院として機能充実が望まれています。施設の増改築を含め、機能について検討中であり。今一つは総務省の方針の中で公立病院の統合計画も聞きます。市民病院が生き残るためいろんな角度から努力してまいります。

議員 病院経営の中で運営形態を今の一部適用のままていくのか、全部適用に移行する考えはあるのか。

市長 しっかりとした計画と施設を新たに構築してから、そして、病院長が全適の責任を持つてやれる条件、体制づくりが必要です。12月までに基本的な方向性を出したいと思っています。

的に検討していきます。

議員 安岐町の図書館は旧役場の建物を利用してあるが老朽化が著しい。小中学校の近くが望ましい。総合支所の空室は利用出来ないか。

総務企画部長 支所の空室の場

● 市民病院について

議員 市民病院の耐震補強か増



丸小野宣康 議員

● 榑来海岸に整備した公園

議員 最近オープンした榑来海岸の施設について、利用状況と維持管理について。

土木建設部長 本年新規オープンで珍しさもあり、訪れる方が予想以上に多く、海水浴に1,000人程とサッカーのイベントで600人程の利用があったと聞いております。

今後の管理運営については委託の必要が有ると思っております。

市長 NPOのくにみ粋群の方から要請もきていますので、大筋くにみ粋群の方にお任せしようかと思っております。

くにみ海浜公園・道の駅「くにみ」の支援策は

— NPO法人「くにみ粋群」に期待 —

議員 人口砂浜の砂の流失・移動に伴う市の財政からの持ち出し過剰にならない対策は。

土木建設部長 県との維持管理



くにみ海浜公園 (少年サッカー大会)

協定の中では、国東市の費用負担となっております。本年の台風後に国東土木事務所に、防砂柵の施設整備を要望しており、検討し来年度以降努力するとの返答をもらっております。

議員 トイレ施設等の管理はどのようになっているのか、青少年の非行の場にならないように巡回等の方策及びトイレ等の光熱費は。

土木建設部長 トイレの清掃は、シーズン期間中は週3回を2名の方を雇って管理してもらい、シーズンオフの期間週2回1人の方でトイレの清掃を

主にしていく予定にしております。年間の管理費ですが、3ヶ月しか経過しておりますので暫定的になりますが、光熱費が24万円程となっております。

● 道の駅「くにみ」の管理運営について

議員 市からの補助金等がなければ、赤字経営になったとも聞かれますが、今後の運営の方向づけをどのように考えるのか。

産業商工部長 18年度決算の状況を見ると、かなり厳しい状況であると感じております。市が、市の基本的な姿勢として、指定管理者の自らの経営努力により行政の支援に頼らない管理運営が望ましいと思っております。「NPO法人国東半島くにみ粋群」と連携し国見地区の活性化に取り組んでほしいと考えております。

一般質問



高橋 正之 議員

バイオエネルギー事業の取組みは

関係機関と協議

組みについて。

産業商工部長 全国で3地域が

実証に取り組んでおります。

今後は関係機関による情報提

供や個別指導等により、バイ

オエネルギーの動向を注視し

対応について関係機関と協議

してまいります。

議員 農産物のブランド化に向

けた具体策の検討は。

産業商工部長 新しい振興作物

の検討を行いながら、既にあ

る作物のブランド化を関係機

関と協議し、推進してまいり

ます。

議員 第一次産業を担う後継者

グループへの支援対策は。

産業商工部長 技術研鑽・情報

収集等主体的な活動に対して

支援するとともに組織の再編

については、市の押し付けで

なくこれまでの各地域の活動

を重視して取り組んでまいり

ます。また、農地・水の環境

保全対策事業につきまして

も、積極的に取り組んでまい

ります。

●国東市民病院の

医師確保について

議員 昨日の質問の中で、市長

は産婦人科医師の複数名の確

保は99・9%無理と言った

が、これまでの6か月間医師

確保についてすべてのことを

やり遂げて来たのか。

市長 市でこの対策を立てるの

は困難と感じております。こ



バイオエタノールとは

バイオエタノールは、サトウキビ、とうもろこし、廃木材などのバイオマス資源を発酵し、蒸留して作られる植物性のエチルアルコールで、新たな燃料用エネルギーとして注目されています。「バイオエタノール製造施設」で作られたエタノールは、自動車やボイラー等の燃料として利用されます。

バイオエタノールはガソリンと混ぜて使うのが一般的で、日本では現在法律で3%まで混合できるようになっています。ガソリンに混ぜて使用することにより、二酸化炭素の排出量を削減し、地球温暖化防止に貢献します。また、石油の使用量が減少することでエネルギー資源を確保。さらに、廃棄物の削減にもつながる地球にやさしいエネルギーとして、大きく期待されています。

れは国の怠慢だと思っております。

議員 国東市独自で、医師修学

資金貸与制度等の先行的な政

策は。

市長 新生の国東高校から推薦

枠で取っていただければ、条

件付きで奨学金等は当然出さ

なければと考えております。

議員 バイオエタノール事業の取り

進めてまいります。

しても関係機関と連携をとり

け準備をしております。市と

000ヘクタールの普及に向

へクター、「あきまさり」¹、

県全体で「にこまる」500

しており平成20年産から大分

実験圃場を設置し試験研究を

か」の3品種を市内において

の「あきまさり」・「あきさや

種」の「にこまる」と、晩生種

の「あきまさり」・「あきさや

いか。

産業商工部長 県として、中生

「ヒカリ」一品種集中生産を見

直し、新品種導入の考えはな

●農業振興方策について

議員 水稲栽培における「ヒノ



木付 親次 議員

空港周辺の騒音対策は

―年内に地元と協議の場を持ちます―

よそで行って訓練のために飛来しています。訓練飛行で地域がこうむる被害にも何らかの財政支援があってもいいのではないかと空港長に伝えていきます。

議員 地域審議会、市政懇談会の時期は。

市長 地域審議会は4町の委員定数が決まり、10月1日に第1回目開催予定です。

地域懇談会は、来年3月末まで御猶予いただき、それから地域の皆様と御意見の交換をしたいと思います。

●定例記者会見について

議員 1ヶ月に1回、定例記者会見を開いて市民の皆さんにお知らせすることはできないか。

市長 マスコミからもそういう要請があります。内外に知らせるためにも有効にマスコミを使わなければならないと思います。そういう方向でやっていきます。

階部分が議場を含めて空部屋となつていますが、現行の施設の構造上、夜間等の市民開放については、現在、市全体の機構見直しを行つており今後総合的に判断します。

議員 28人の市職員が退職して不補充で市民サービスが維持できるか。

総務企画部長 大幅な退職で組織の改編について大枠で見直し作業を行つていきます。これから各部署の意見を参考にし組織機構の見直し案作成に着手していきます。市民サービス水準の低下を招くことのないよう配慮していきます。

●大分空港周辺の騒音対策

議員 騒音防止の第一種区域に武蔵、安岐で81戸が指定されている。防音工事の完了後25年以上経過し老朽化に加え、訓練機の騒音もある。航空機燃料譲与税は、空港周辺の騒音対策や整備に充てなければならぬが、使途はどうなつているか。



議員 訓練機の練習場所に対する交付金、国からの助成はないか。

生活福祉部長 訓練飛行も譲与税で、所在の所で給油するものが基本ですが、大半が給油を

●総合支所の空部屋活用は

議員 安岐では図書館以外の活用方法国見、武蔵ではどう考えているか。

総務企画部長 国見総合支所では2階の議場が、武蔵では3

生活福祉部長 騒音対策の工事はありません。道路、集会施

一般質問



大谷 和義 議員

機能別消防団の導入を

―導入する方向で準備―

備も必要では。

土木建設部長 住宅建設を増やしていく考えは、少ないと思います。また、取り壊し対象住宅の修繕については、主要な構造物は修繕しない方針です。

●消防団活動について

議員 特別の活動、役割のみを実施する機能別消防団の導入は。

消防長 国、県が機能別消防団の導入について支援体制を強化するので、調査、研究を行うことで導入する方向で準備を進めます。

議員 市職員についても機能別消防団員として地域防災体制の構築に効果があると思うが。

消防長 市職員、各企業との協力体制については、強化するよう検討準備を進めます。

市長 消防行政の中に入りますので、消防本部の方と連携をとりながらやっていくのが当

然だと思っています。

●市営住宅について

議員 居住水準の低い老朽化住宅の今後の取り組みは。

土木建設部長 取り壊しの対象戸数242戸ありますが、まだ136戸が生活しており、転居していません。今年度「市営住宅移転補償事務処理要綱」を策定しまして、転居への理解と協力をいただきながら計画に沿って処理します。昨年度国見町で6戸、今年度は、安岐町で14戸取り壊しをします。

議員 転居が難しいのは、老朽化住宅が市街地の近くにあり、入居者が高齢化してい

るからである。受け入れ先の団地をこしらえたり、環境整

●環境教育事業の推進について

議員 環境教育の全体的な計画の作成を各学校に、どのように指示しているのか。

教育長 学校間及び校内での学年間の連携や、地域並びに関係機関との連携による多様な体験学習や環境保全活動を推進するために、教育課程に組み入れるよう指導しています。

議員 新設校の学校施設を環境に配慮して改修する計画は。

教育長 安岐中、安岐統合小では、エコスクールパイロット・モデル事業の中で、木材利用型の事業タイプを採用しています。



老朽市営住宅



溝部 元生 議員

少子高齢化の対策

— 地元企業で就職できるように

協議を重ねていきたい —

していかざるを得ません。災害復旧工事や施設の維持補修工事の住民の安全にかかわるものは予備費等も使用し、即時対処すべきであると考えております。

●少子高齢化について

議員 国東市は少子高齢化が急速に進んでいるが、今後の対策をどう行っていくのか。

市長 少子高齢化は避けて通れない問題であり、対策としては地元企業の採用が少なく、県の振興局、企業との連携をとりながら、高校や大学卒業後には地元に戻ってもらう、地元企業に就職できるような話し合いをしているところであり、そういう方針をとっていただきたいと協議を重ねているところです。

●格差社会について

議員 地方はますます格差社会

が進んでおり、市長は現状をどうとらえ、それに対する打開策はどのように考えているのか。

市長 地域格差を打開するためには、従来の業界構造や業種ごとの法制度にとらわれず地方産業を再構築していくためのビジョンと体制づくりが必要であり、公への依存型から自立型へどう地域産業を構築し直すのかについての本格的な検討が急務であると考えています。

議長 投資的経費の削減と、公共工事に対する今後の見通しは。

市長 投資的経費の削減につい

ては、借入金

の償還費が財政収支を圧迫しており、財政状況を改善するためには借入金を減らしていくことが課題となっております。

借入金の多くは普通建設業等の投資を目的に行ったためであり、借入金を減らすためには投資的事業を減ら



公共工事 (安岐町中園)

委員会報告

総務委員会

委員長 馬場 将郎

9月議会において審査を付託された「平成19年度国東市一般会計補正予算（第2号）の関係部分」「平成19年度国東市立国東自動車学校特別会計補正予算（第1号）」、その他一般議案「国東市ケーブルテレビ施設条例の一部改正について」、「国東市消防本部及び消防署の設置等に関する条例等の一部改正について」、「国東市土地開発基金条例の廃止について」について審議しました。

審議の過程で、委員より設計委託、保守点検委託、各種基本計画委託等、委託事項が多く見受けられるが、安易に委託に出すのではなく、資格を持つ職員を調査し、その資格を活かすとかで配置をするなり、市職員で対応できることを模索することや、専門職員の採用又は、採用後の養成を今後検討すべきではないか、それも行政改革の一環ではないかとの意見が出されました。

それらの意見に対して、職員の取得資格の調査をし、職員の配置に活かす方向で検討することや、今後の職員採用にあたっては、専門職員の採用等を念頭に置き考える必要がある旨執行部より答弁がありました。

以上のような意見が出たが、付託された案件については慎重に審査した結果、すべて原案のとおり可決すべきと決定しました。

文教委員会

委員長 堤 康二郎

9月14日安岐総合支所会議室にて、委員会付託された第77号議案「一般会計補正予算（第2号）」の関係部分について議案審議を行いました。主なものは安岐町の統合される4小学校への閉校式補助金185万円でした。西武蔵・朝来・南安岐・西安岐小学校の閉校記念式典経費補助金は一律5万円として、記念誌発行経費補助金は各学校区の世帯数を基準に算定した金額であり、今後予想される学校統廃合の補助金算定基準を確認して原案のとおり可決すべきものと決しました。

審議終了後、安岐統合小学校工事現場、安岐図書館、武蔵図書館、武蔵給食センターの4箇所を視察しました。

統合小学校では、まだ着工まもなく、進捗状況はそれぞれ10%前後でした。

武蔵図書館は図書館活動が充実しており、利用者数も増加傾向にありました。

武蔵給食センターは、今年度の改築計画を凍結しシャッター等を一部改修しましたが鉄骨の腐蝕や構造部の傷みが見受けられました。

安岐図書館は、施設の老朽化も著しく、スペースも狭く利用者にとっては非常に利用しにくい施設で、早期に移転等の必要性を感じました。

委員会報告

産業建設委員会

委員長 丸小野宣康

平成19年第3回定例会において、当委員会に審査を付託された平成19年度一般会計補正予算のうち当委員会に関係する部分と、サイクリングターミナル事業・簡易水道事業・公共下水道事業・特定環境保全公共下水道事業・農業集落排水事業・浄化槽設置事業の各特別会計補正予算、以上7議案について9月14日当委員会を開催し、担当部長並びに担当課長外担当職員とともに内容を確認しながら慎重審議しました。その結果議案7件について全て原案のとおり可決すべきものと決定しました。

次に、イノシシ・鹿等の有害鳥獣被害の深刻化・広域化に対応して、有害鳥獣対策を抜本的に強化されるよう有害鳥獣対策の抜本強化に関する意見書（案）を提出する事について決定しました。

また、商工労働行政・農林水産行政・土木行政・災害対策の各事件について閉会中の継続調査とすることに決定しました。

議案審議の経過については、まず下水道事業について事業効果や事業効率等を勘案して、市の負担が軽減される合併浄化槽への転換を推進すべきとの意見が出されました。

次に農業用水路等の整備や農道の舗装整備の要望が多く申請されているが、予算が半分程度しか計上されていない。高齢化社会の進む中、農道等の維持管理には大変苦慮しており、農家にとって最も重要な課題であるので、12月議会で補正し100%の整備を強く要望する旨全委員の意見が一致しました。

議案審議終了後、武蔵町にある「マリンピアむさし」に行き、経営状況等について研修し、職員の努力により若干ではあるが利用者の増加傾向と過去8年間の黒字経営を確認しました。

厚生委員会

委員長 諸富 忠

平成19年第3回定例会において、厚生常任委員会に審査を付託されました、議案第77号平成19年度国東市一般会計補正予算（第2号）の関係部分と関係補正予算外4件、議案第90号国東市乳幼児医療費の助成に関する条例の一部改正、議案第91号国東市民病院使用料及び手数料徴収条例の一部改正の7議案、及び国民健康保険に対する国庫負担を以前の水準に戻していただきたい旨の請願、地域医療を守るため医師養成数の増加を求める請願2件、計9議案について、生活福祉部長、市民病院長、各担当課長より詳細説明を受け、9月13日の厚生常任委員会において慎重に審査を致しました結果、いずれも原案の通り可決すべきものと決定しました。

なお市民病院の経営改善、改築計画案等については、高木副市長が中心となって財政状況を踏まえながら、年内に方針を作り、検討、協議していくことを確認しました。



9月定例会に請願2件が採択され、意見書4件が議決されました。

- ◆国民健康保険に対する国庫負担を以前の水準に戻していただきたい旨の請願
- ◆地域医療を守るため医師養成数の増加を求める請願

厚生委員会 行政視察報告



8月29日から31日まで、介護予防の先進地の東京都府中市と地域医療の先進地の長野県諏訪中央病院を視察しました。府中市では65才以上で介護保険サービスを利用していない人を対象に、介護予防事業を展開し、転倒予防教室、認知症予防教室、栄養教室、筋力向上教室などを実施し、高齢者の生きがい対策として、又医療費の節減にも貢献しており、本市においても介護予防事業への取組みに期待するものです。

次に1人当たり医療費が全国で一番低い長野県の医療の現状を学ぶため諏訪中央病院を訪問しました。362床の茅野市、原村、諏訪市によって運営される自治体病院です。救急、高度医療対応の中核病院として広大な敷地内に、ドッグ・健診センター・介護老健施設・特別養護老人ホーム・看護専門学校等を併設し、「予防からリハビリまでの一貫した医療」、「地域に密着した手づくりの医療」を理念に掲げた名誉院長鎌田實氏の考えに基づき運営されており、わが市民病院の今後の運営方法を策定するにあたり参考になるのではないかと考えた次第です。

意見書

皆さんの声を国政に

(内閣総理大臣等に提出しました。)

*国民健康保険に対する国庫負担を以前の水準に戻していただきたい旨の意見書

*地域医療を守るため医師養成数の増加を求める意見書

*有害鳥獣対策の抜本強化に関する意見書

*身近な地域で安心して出産ができる助産所の存続を求める意見書

議会運営委員会 委員会研修報告

10月15・16日に熊本市民会館で行われた第2回全国市議会議長会研究フォーラムに参加しました。全国から1,600人の市議会議員が参加しての盛大な大会でした。

第1部の基調講演は元総務大臣の竹中平蔵氏が「地方行政の課題」と題して小泉元総理と共に実行した銀行の不良債権処理と郵政民営化に至るまでの話から始まり地方分権の問題点・税源移譲・新型交付税・道州制などを詳しく話され最後にこれからの地方活性化には観光関連産業がキーを握ると熱弁されました。

第2部では「地方行財政改革の行方」と題してのパネルディスカッションがあり、2日目は「予算決算審査のあり方」「委員会運営のあり方」について4人の議員からの報告の後、活発な課題討議が行われました。参加した委員一同今後の議員活動に大変参考になった研修でした。



議会のひとびと

- 8月28日 議会運営委員会
- 29日～31日 厚生委員会行政視察
- 9月6日 議会運営委員会
- 6日～21日 9月定例会
- 7日 行財政改革調査特別委員会
- 12日 広報編集特別委員会
- 13日 総務委員会
- 14日 厚生委員会
- 14日 文教委員会
- 15日 産業建設委員会
- 18日～19日 県体議員ソフト大会
- 10月2日 決算特別委員会
- 3日 行財政改革調査特別委員会
- 10日 徳島県三好市議会行政視察
- 10日 広報編集特別委員会
- 11日 病院対策事業特別委員会
- 15日～16日 議会運営委員会視察研修
- 19日 愛媛県西条市議会行政視察
- 22日 広報編集特別委員会
- 23日 千葉県銚子市議会行政視察
- 23日～24日 市議会議長会議員研修

表紙の説明

さよなら

南安岐小学校大運動会

撮影：中野 昭純(国東市安岐町) 場所：南安岐小学校

安岐町の4つの幼稚園、小学校が今年度をもって閉校になります。各小学校では130年以上の歴史を終えるため、様々な行事を思い出深いものにしようと懸命に取り組んでいます。南安岐小学校では、園児、児童、教員、保護者、地域のみなさんが一緒になって、南安岐小学校に感謝の気持ちをこめて、記念の写真を撮りました。

県体議員ソフトボール



残念！1回戦敗退

奮闘むなしく

去る9月15日に、別府市野口原総合運動公園で、県民体育大会議員ソフトボール競技が行われました。1回戦の宇佐市相手に接戦の末、5対5の引き分けとなり、抽選の結果、残念ながら敗れてしまいました。

議会を傍聴しましょ

次回定例会の開催予定は12月上旬の予定です。

議会を傍聴されたい方は、議会事務局までご連絡ください。 電話 (0978) 72-5196

編集後記

当市内においては、昨年まで3年連続の台風の襲来を受け、収穫直前の水稲・果樹等に甚大な被害を受けたが、本年は久しぶりの穏やかな収穫の時期を迎えることが出来た。これは、水稲については、ウレシカによる被害が出たが、生産者も胸を撫で下ろすことが出来たであろう。

日本では古来より四季のものを四季を通じて、味わい・感じることに慣れ親しんできたが、近年では栽培技術の向上により年間を通して、色々な生産物が手に入るようになってきた。喜んでいいのかわからないのは、個人の価値観によるが、四季を感じることも、子どもたちには実感させることが出来ない。魚は時期が来なければ収穫することが出来ない。規制がしかれていないと、唯一、四季を感じさせられるのではないだろうか？ 天高く馬肥ゆる秋のこの時期に、目黒の秋刀魚といえるかな？

市内の漁獲量は激減しているとも聞いています。今後は獲る漁業から育てる漁業を目指して、後継者に豊かな漁獲量を確保する取り組みを我々の世代で確立して行かなければならない。他の第一次産業の後継者にも夢の与えられないような、第一次産業の確立に向け取り組まなければならない。国東地域の発展はないだろうか。若者よ、第一次産業を見直し活力ある国東市建設に向け共に頑張ろう。稲穂の国の継承は若者に託されている。(高橋)

発行責任者 猪俣 俊雄
編集委員長 吉松 京一
副委員長 木橋 正之
委員長 高橋 徳明
木田 憲治
白石 宣康
丸小 野
大谷 和義
宮永 英次

国東市議会だよりは古紙100%の再生紙を使用しています